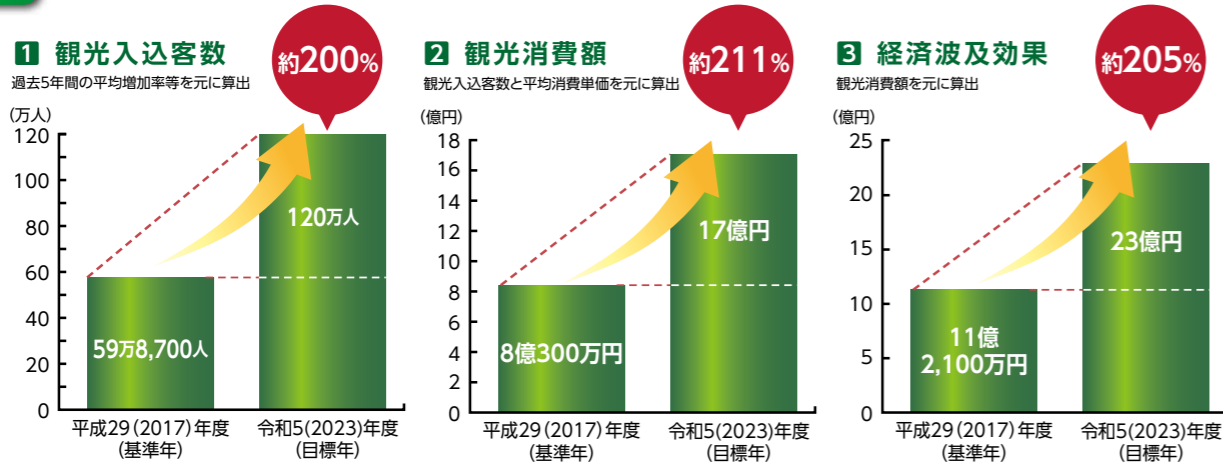


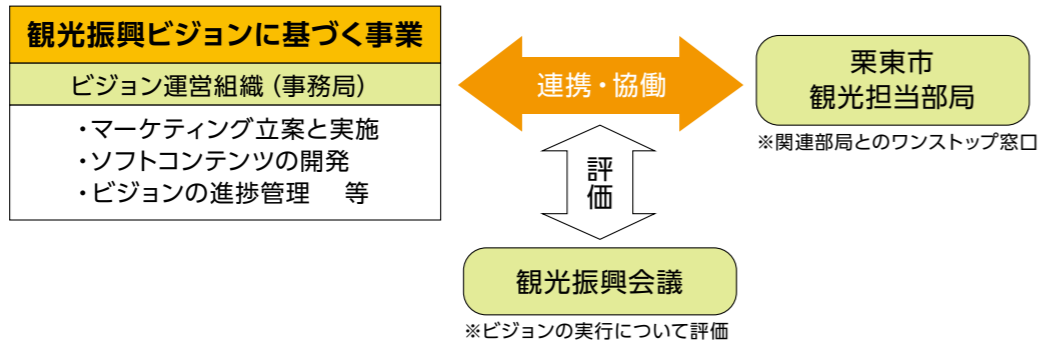
想定数値

本ビジョンの推進における基本的な想定数値として、「観光入込客数」「観光消費額」「経済波及効果」それぞれの増加を掲げ、ビジョンの進捗状況や事業の評価はこれら想定数値の達成度によって図ることとします。なお、実施期間の中で進捗状況を踏まえ、想定数値の見直しを行います。



ビジョンの推進体制

- 1 栗東市は、観光施策の担当部局がビジョン運営組織と緊密に連携し、ビジョンに基づいた観光振興と市民および観光にかかわる市内商工業者の意識喚起に取り組みます。また、観光担当部局は、市の関連部局との相互連携の中心的役割を担うとともに、ビジョン運営組織と各関連部局とのワンストップ窓口としての役割を果たします。
- 2 ビジョン運営組織は、栗東市と連携・協働してビジョンに基づいたマーケティング調査・分析・計画立案を行うとともに、各事業の実行について主導的役割と進捗管理を担います。運営組織は栗東市と連携して早期に組織体制を構築します。
- 3 観光振興会議は、地域の観光に関わる関連団体や事業者等によって構成され、栗東市やビジョン運営組織に対して、年度ごとにビジョンの実行に関して評価を行います。



発行：栗東市環境経済部商工観光労政課
〒520-3088 滋賀県栗東市安養寺一丁目13番33号
TEL 077-551-0236(直通) FAX 077-551-0148

～“物語”の磨き上げと再発見による、まちの誇りの創出と観光振興をめざして～



金勝山ハイキングコース

フォレストアドベンチャー・栗東

栗東市観光振興ビジョン

【概要版】

栗東市
マスコットキャラクター
「くりちゃん」



令和2(2020)年3月
栗東市



目川ひょうたん



旧和中散本舗(春の特別公開)

東方山安養寺

栗東市観光振興ビジョンの概要

◆計画の位置づけ：第六次栗東市総合計画の観光分野における個別計画
◆計画期間：令和2(2020)年4月～令和7(2025)年3月〈5年間〉



めざす姿

“物語”の磨き上げと再発見による、
まちの誇りの創出と観光振興をめざす

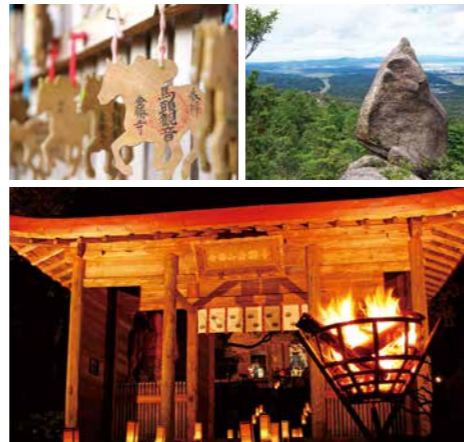


基本理念

栗東市には、金勝山をはじめ、歴史街道や神社仏閣など豊かな自然環境や歴史・文化遺産が数多く存在するとともに、多様な伝統文化が息づいています。また、市内に競争馬の調教施設があることで馬とのかかわりが深いまちとしても知られています。これら地域資源(観光資源)はそれぞれが固有の“物語”を持っており、より多くの人々を惹きつける力を秘めています。

このような“物語”を市民や事業者、関連団体などのさまざまな主体とともに共有、発信、再発見することで、地域の価値を高め、“物語”を活かした観光振興により地域産業やコミュニティの活性化を進めていきます。

そのためには、市民と来訪者がともに、国籍や年齢、性別などを問わず、栗東の魅力を安心して快適に楽しめるような環境を整備し、いつまでも住み続けたい、関わり続けたい、訪れたいと思えるような栗東のまちづくりに取り組みます。



(左上)馬頭観音堂、(右上)金勝山ハイキングコースからの眺望
(下)金勝寺



基本方針

1. 観光資源の磨き上げと再発見

(1) 現有の観光資源の磨き上げと活用

- ① 周遊型観光の環境整備やモデルコースの設定
- ② 既存の祭りやイベントの魅力向上



(2) 観光資源として認識されていない隠れた魅力の発掘

- ① 市民や来訪者による地域資源の発見とSNS等による情報拡散の促進



(左上) 狛坂磨崖仏、(右上) 旧和中散本舗庭園
(左下) りっとう市民秋まつり、(右下) 旧和中散本舗木製製菓機

基本方針Ⅰ 観光資源の魅力向上

基本方針Ⅱ 行きたい、会いたい、体験したいと思われる体系と体制づくり

2. 戦略的なマーケティングの立案と実施

(1) 調査やデータに基づいたマーケティング

- ① マーケティングのためのデータ収集と専門的な調査の実施・分析
- ② マーケティング計画の策定(KPIを伴った計画策定)
- ③ マーケティング計画の実行体制の構築



(2) 受入環境の整備と受入意識の醸成

- ① マーケティングに基づいたハード・ソフトづくりの計画策定
- ② 交通アクセスの利便性向上
- ③ 市民のおもてなし意識の醸成と教育分野との連携



(3) 戦略的な情報発信体制の強化

- ① 観光に関わる広報体制の強化

(4) 地域経済活性化の推進

- ① 観光関連消費の喚起
- ② 観光関連産業の創出喚起
- ③ 域内調達率向上に向けた啓発推進



3. 関連組織等との連携推進と支援

(1) ビジョン推進体制の構築

- ① ビジョン推進体制の構築

(2) ビジョン実行に対する評価体制の構築

- ① 観光振興会議の活用による評価

(3) 市内外の関連組織や団体、自治会等との連携推進

- ① 公共交通機関各社・団体との連携強化
- ② 国、県、他自治体、観光関連団体等との連携推進

